



# 夢の本棚へ

発行所：松居直コレクション  
プロジェクト  
代 表：金戸 美紀予  
事務局：石川県小松市  
小馬出町10-3  
空とこども絵本館  
☎ 0761-23-0033  
bookrin@city.komatsu.lg.jp



【活動方針】①絵本の楽しさを伝える <親子読書の奨励> ②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える <絵本文化の研究>  
③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える <絵本文化の継承>

## 松居直氏のメッセージ ①

### 2002年・ブックスタート事業を開始

#### 命を支える言葉

#### ブックスタートに寄せて

からだは命の器であり、言葉は命を支える力です。その大切な言葉を生きたかたちで赤ちゃんに伝えるために、赤ちゃんに家族とが言葉で深く結びつくために、ブックスタートは生れました。

赤ちゃんのしあわせはお母さんのしあわせにかかっています。お母さんのしあわせが赤ちゃんの生きる力になるのです。

赤ちゃんといっしょに絵本を見ながら、絵本を読み聞かせするということ意識にとられず、自分の感じたままの思いや、読みとったま

まを自由に赤ちゃんに話しかけるとき、共に居て生きている実感と喜びとが、お父さんやお母さんの気持ちに湧きだし、赤ちゃんに伝わります。

家族に抱かれ、家族の手がめくる絵本の絵を見つめ、家族の話しかける言葉のやさしさ、あたたかさ、愛の深さを感じる時、赤ちゃんの心とからだはいきいきと育つのです。

絵本は赤ちゃんにとって愛の言葉をくみだす命の泉です。

児童文学者  
NPOブックスタート会長  
松居 直

### 全国に先駆けて

◆ブックスタートは、抱っこのおたかかさのなかで、赤ちゃんに語りかける「愛情」とばによって、赤ちゃんとその成長に関わる人が、お互いに心を通い合わせ、幸せが感じられ



小松市  
成14年度より開始しました。赤ちゃんの4ヵ月児健康相談の日に「すこやかセンター」で行っています。

るきつかけをつくっていききたいとの願いが込められています◆小松市では、全国でも2番目に早い平

家庭でも親子が絵本をひらく何よりのきっかけになれば、健康相談の後、ボランティアの皆さんが絵本の読み聞かせを行います。手渡しています。



### おすすめのコラム欄

## 乳幼児の成長過程

★**榊原洋一氏**（小児科医・お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授）によれば…▼**0～3か月の頃**、赤ちゃんは「大人に比べて劣っている視力を駆使して、新生児はある特定のものを特によく見るのです。ある特定のものは、なんですか？人の顔、特に目元と口元なのです」▼**生後数か月**から、赤ちゃんは、「『大人には分からない』おしゃべりを盛んに始めます。▼この声のことを「クイーグ」（クックーという声という意味の英語）と呼んでいます▼「ねえお母さん、なんか言っ

てよ」という意味が込められていたのです」  
★**秋田喜代美氏**（教育心理学・東京大学大学院教育学研究科教授）によれば…▼**1歳半頃**から**3歳頃**までは「絵本の主人公になりきって動いたり、絵本の絵と同じものを見つけて持ってきたりする」▼**3歳過ぎ**になると「絵本の絵だけに集中するようになってきます」▼「絵本の絵は、子どもにとって新たな世界を拓く窓です。何度もくりかえし絵を見て楽しむことで、新たな発見が生まれる時間を持ちたいですね」

～「NPOブックスタート」ホームページのコラム欄より～

★「NPOブックスタート」のホームページのには、左記のコラムのほか、**大日向雅美氏**（発達心理学・恵泉女学園大学学長）や**三石知左子氏**（小児科医・葛飾赤十字産院院長）、**佐々木宏子氏**（乳幼児発達研究・鳴門教育大学名誉教授）等、おすすめの内容が満載です。

ぜひ一度、立ち寄ってみられてはいかがでしょうか。◆**会報第29号**（平成30年2月1日発行）の「ブックスタート」つてなあれ。」も、併せてお読みいただければ嬉しいです。

